

私学高等教育研究所 第84回公開研究会
一日韓国交正常化60周年記念研究会

私立大学の未来

日 時：2025年9月1日（月）13:30～16:30

開催方法：同時通訳（日本語・韓国語）

オンライン（Zoom）及び対面（AP市ヶ谷7階Bルーム）

主 催：日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所&日本私立大学協会 国際交流委員会

日本と韓国では、少子化や都市への一極集中が高等教育に影響を与えている。両国ともに8割の学生が私立大学に在籍しているが、学費や補助金の国私間の格差、地方大学の危機など、共通点も多く有している。

本研究会は、日韓国交正常化60周年を機に、日韓の高等教育における交流を図ることを目的として、両国の高等教育政策等の検証を行うとともに、韓国で注目されているグローバルなオンライン教育の事例などを紹介し、私立大学の未来を多角的に協議したい。

挨拶（13:30～13:40）

講演1

「韓国の私立大学の現状と将来に向けての課題」（13:40～14:30）

講師：金 相奎（キム・サンキュ）氏（学校法人泰齊学園 法人代表者）

概要：私立大学の将来を左右する変数として「少子化・学齢人口」、「高等教育の制度・政策」、「高等教育の財政」、「私立大学のガバナンス」を枠組みにし、諸国の政策動向を参考にしながら韓国の私立大学の実態分析を踏まえて展望と課題を論じたい。

講演2

「「分断社会」としての日韓における高等教育の現状と課題」（14:30～15:10）

講師：松本 麻人 氏（名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授）

概要：経済的格差やジェンダー格差、都市部と地方、多文化化とともに生じる排外主義など、社会の様々な局面でみられる「分断」に直面する日韓において、両国の高等教育はそれらにどのように対峙しているのか、その課題は何かについて整理、考察する。

休憩（15:10～15:25）

パネルディスカッション（15:25～16:30）

パネリスト：梁 鎬錫（ヤン・ホソク）氏（駐日本国大韓民国大使館 首席教育官）

金 相奎（キム・サンキュ）氏（学校法人泰齊学園 法人代表者）

松本 麻人 氏（名古屋大学大学院教育発達科学研究科 教授）

西井 泰彦 氏（私学高等教育研究所 主幹/就実学園 理事長）

司 会：森 利枝 氏（大学改革支援・学位授与機構研究開発部 教授

/私学高等教育研究所 研究員）

【お申込み】

日本私立大学協会 web サイト（<https://www.shidaikyo.or.jp/>）“トピックス”の公開研究会の開催案内からお申込みください。申込締切：2025年8月25日（月）

※お申し込み時のメールアドレスに、視聴用 URL 等の詳細をご案内いたします（開催日前日まで）。

【備考】

1. 参加費は無料です。
2. 対面は加盟大学につき1名まで／オンラインは人数制限はありません。
3. 期間限定で録画配信を行います。（録画配信のみをご希望の場合もお申込みください。）
4. ご登録情報は研究所の運営目的以外には使用いたしません。
5. 講演内容は予告なく変更となる場合があります。
6. 録画・録音・写真撮影はご遠慮ください。

【問合せ先】

日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 担当：坂下景子／三井 渉

TEL：03-5211-5090 MAIL：info@riihe.jp